

## 1 学校再編の目的

少子化の進行

学校の小規模化

学校規模の適正化（市全体の学校配置の見直し）

学校再編

### ○ メリット ○

- ◎ 友だち同士の間関係が深まりやすい。
- ◎ 個別に役割を与えて活躍する場面を作りやすい。
- ◎ 子ども一人ひとりに教員の目が届きやすい。

### <小規模校>

### ● デメリット ●

- ◎ 意見を交わし理解を深める授業が難しい。
- ◎ 多様な価値観に触れられることが難しい。
- ◎ 一定規模が必要な学習の効果が十分得られない。

日々の授業を中心とした教育活動の中で、子どもたちに必要な力を育みます。

知識  
+  
技能

課題発見・解決力  
挑戦する力 コミュニケーション能力  
粘り強さ・忍耐力  
思いやりの心 等

自ら考え  
学ぶ授業  
対話・協働  
切磋琢磨

一定規模の  
集団が  
不可欠！

## 2 「再編」と「統廃合」の違い

福山市の方針

### 再編

それぞれの学校が培ってきた歴史や伝統を引き継ぎ、新しい学校としてスタートします。

新しい学校づくりをしていくため、校名等について開校準備委員会(\*)で一から検討します。

それぞれの学校の特色ある教育内容、教育活動を引き継いだ新たな教育課程を編成します。

加配の教員が配置されます。

考え方

校名・校歌  
校章・制服等

教育内容

教員配置

### 統廃合

規模の小さい学校を廃校にし、大きい学校に吸収します。

統合先の学校の校名等を使用します。

統合先の学校の教育内容を基本とします。

加配の教員が配置されます。

(\*) 開校準備委員会 … <構成員>各学校の保護者、地域の代表者、学校関係者、教育委員会 <協議内容>校名・校歌・校章、制服等、地域との連携など

## 3 再編にあたって

### 【事前交流】

◎ 子どもたちが、新しい学校生活に円滑に移行できるように、児童・保護者の事前の交流事業を計画し、実施します。

### 【施設整備】

◎ 学校施設の大規模改修（リノベーション）や改築を行います。  
◎ 子どもたちと地域の方が交流する「ふれあいルーム」を整備します。

### 【特色ある教育活動の継承】

◎ 子どもたちの地域に対する愛着が深まるよう、再編により広がった地域に出向き、地域の人から学ぶ教育活動を実施します。